

平成29年度取組状況

ものづくり工学科

一般科

准教授

吉田健一

取組状況	
教育	<p>1. 反転授業用の教材開発 前期量子論と原子物理分野を対象にした、実験と理論教材を新規に開発した。授業形式は、理論部分は学生がYou Tubeで事前学習し、授業中は学生が実験を行う、反転授業とした。今年度から実際に、これらの開発教材を授業に導入している。今後は教育効果の定量化を目指す。</p> <p>2. アクティブラーニング形式の授業実践の成果公表 クリッカーを用いたアクティブラーニング形式の授業を実施し、その成果を応用物理教育誌で公表した。</p>
研究	<p>1. 応用物理教育の論文出筆 高等専門学校におけるアクティブラーニング導入の取り組み, 吉田健一, 応用物理教育 Vol. 41-1, pp.11-16, 2017.</p> <p>2. 外部資金 科学研究費基盤研究C 研究代表者 研究課題: 層状酸化物を対象としたSOFC空気極の新物質探索</p>
社会貢献	<p>OPC用に、力学を題材とした教材開発に取り組んだ。</p>